

感謝

伊藤高規

青森県・36歳・自営業

最後に会ってからもう10年以上になるね。

人伝に、真由美がオーストラリアで暮らしていることを聞きました。

俺が東京に仕事が決って、出発の日、真由美がホームのはじっこで見送ってくれたのは知ってたよ。電車が動き出して、流れる風景の中に真由美の姿が飛びこんできた。

嬉しかった……。

1年ぶりに再会した時、真由美の変化と将来に対する野望には驚いたよ。俺はごく普通のサラリーマンで、平凡こそ安定だと思いこんでいたのに対して、真由美はモデルをし、海外に目を向けて移住まで考えていた。正直言って、嬉しい反面、少しショックだった。嬉しかった事は、真由美が前にも増して輝いてた事。ショックだった事は、二人の距離が広がった事。もう違う世界の人だった。そしてもう一つ、近い将来本当の別れが来る事を直感した事。

付き合っていた頃はいつも俺の後ろにいたのに、何時の間にか真由美は俺を追い越していたね。本当は喜ぶべき事なのに、俺のつまらないプライドが邪魔をして素直に喜びを表現できなかった。ごめん……。

今、俺は真由美に感謝しているよ。

10年前、前向きにチャレンジしている真由美の姿に影響を受けて、俺もサラリーマンを卒業し、今では、小さいながらも独立事業主として頑張ってるんだ。そして毎日何かにチャレンジしようと考えている自分がいる。

まだまだ成功とは言えないけれど、きつと成功してみせる。そして真由美を追い越してみせるからね！それが真由美に対する最大の感謝の意。

お互いに、成功した姿で、地球上のどこかで「会えて良かったね！」って言えることが来る事を信じているよ。

それまでお別れだね……。